

## チャレンジ項目記入数 15

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		経営者は、会社が従業員に対してどのようにして関わっていきたいのかを明らかにしている。経営目標は業務や案件ごとに立てられ、現場責任者等と共に周知されている。定期的な社内方針説明会を実施している。								8	9								17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		法令遵守の重要性については規程があり、必要に応じて朝礼等の時間を活用し管理者やリーダーをして従業員へ申し送りを行っている。																	16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		社内で得た機密情報は取り扱いについての規定があり不正競争行為に利用されないよう管理されている。必要に応じて秘密保持の誓約書を交わす。会社として公正な取引を行い、業務上関わりのある会社と対等な関係を築けているかチェックしている。											10							16
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		現場責任者を担当者とし、工場内事務所や休憩室のエアコンの設定温度管理を行い、節電に取り組んでいる。管理部を担当者とし、事務所内の節電と節水、事務所周辺の地域清掃活動を行っている。管理部による地域の美化作業への参加を行っている。																	16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		業務内で取り扱う製造に関する知識や技術は、就業規則や労働契約にて保護されている。機密情報については取り扱う従業員を限定している。必要に応じて秘密保持の誓約書を交わす。情報通信機器取り扱いに関する就業規則を規定している。								8.2 8.3	9								16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		個人情報の紛失・破損・改ざん・漏洩などを防止するため、取り扱う従業員を限定し厳重な管理を行っている。必要に応じて秘密保持の誓約書を交わす。情報通信機器取り扱いに関する就業規則を規定している。																	16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		業務上で取り引きを行っている会社との意見交換を随時行い、製造する部品などの変更点管理によりステークホルダーに及ぼす影響を把握して、適切に対応している。																16	17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		公正で透明な取引と事業活動の実現に取り組むことで、地域貢献と会社の発展に繋げている。性別・年齢・国籍・雇用形態によっての人権侵害やハラスメントが無いよう、月に一度取引先と行われる安全対策委員会にて問題意識を共有している。				5			8		10		12	13	14	15	16	17		
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		大規模自然災害発生に伴う事業中断を想定し、BCP(事業継続計画)を作成している。また、定期的に災害に備えた訓練を実施している。地震や水害などの自然災害や事故が起こった場合、従業員がそれぞれ担う役目を把握している。								9		11		13.1				16	17	
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		飲食業を中心に、事業承継を検討している企業様との打ち合わせを実施。社内検討中。四半期毎に役員と税理士で検討している。又現場でも、現場リーダー等の管理者には後継者を指名してもらい半期毎ごとに後継者の指導と育成を含めた目標設定を行っている。							8	9									17	
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●		仕入れ先での労働環境や賃金、取引価格などが、公平なものであるかどうか常に关心を持ち、配慮しながら商品を調達している。 (消耗品や部材…ネジ、ワッシャーなど)	1	2		5			8			12	13	14	15	16	17			
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別・年齢・障がい・国籍・出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		雇用・性別・国籍等・雇用条件において差別が無く従業員が働きやすい環境が整備されるよう徹底している。ハラスメントの禁止については就業規則に定め、相談窓口を設けている。3か月に1度、担当者による全従業員への面談を実施している。ハラスメントが起きた場合の対応に関して規程を定めている。			4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3								16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		月に一度の安全衛生委員会を行っている。毎日朝礼でKTY活動を行っている。業務上のヒヤリハットや通勤時の安全に関してまで、社内で情報を共有し再発防止に取り組んでいる。		3					8.8											
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		雇用形態に関わらず同一労働同一賃金の原則により、公正な待遇を行っている。顧問社労士による就業規則のメンテナンスを随時実施している。				5.5			8.5		10.2 10.3									
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためにワークライフバランスを推進している。	●		有給消化の促進を行っている。短時間労働や副業・兼業を認め、働き方改革への取り組みを行っている。36協定に準じて管理部による残業や休日出勤の管理を行い、月に決まった頻度で現場責任者や各リーダーとの情報共有を行っている。		3		5.5			8.5 8.8		10.3									
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		外国人労働者受け入れ後の人材育成を実施している。日本語能力検定の取得に応じて資格手当を付与している。社外セミナーへの参加を推進している。(費用は会社負担)教育トレーナーの育成を行い、教育訓練の充実化に取り組んでいる。半年に1度、リーダー以上による品質の社内勉強会を実施している。			4	5.5			8	9										
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		インフルエンザ予防接種の費用負担を行っている。生活習慣病やメンタルヘルスに関する相談窓口を24時間設置している。管理部で毎日の体調確認を行うことで従業員の体やメンタルヘルスの不調について素早く気づき、フォローができる体制を取っている。大津町主催のスポーツ大会へ参加している。2024健康経営優良法人認定を取得している。		3					8										17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		人種の差別など関係なく従業員のスキルや適性・労働環境を考慮し、本人との面談を行い必要に応じて人事評価を行っている。女性管理職の積極的な登用を行っている。生理日の措置を取り入れている。 育児休業・育児短時間勤務・介護休業・介護短時間勤務の制度を取り入れている。			4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3								16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		ウェブでのリモートによる会議、打ち合わせ等を実施している。事務所内の換気と必要に応じた小まめな新型コロナウイルス抗原抗体検査を実施している。		3					8	9.1		11	12							
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		社内にクラウドサーバーを設置することで複数現場のデータを集約し、一か所での勤怠データ管理や反対にデータ配信を可能にしている。社内会議や安全対策委員会などをオンラインで行い業務改革を行っている。社内での情報交換にSNSを活用することにより、社内データの電子化と効率化を進めている。DX推進者を専任している。							8	9.1		11	12							
	21	【プライベート企業】 ・プライベート企業に認定されている。	●				3	4				8	9		12								

## 更新

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 事業者名: 株式会社 エヴォルト

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【○年○月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

チャレンジ項目記入数 15

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		工場内と事務所内のゴミ分別の徹底、地域のゴミ捨て場の定期的な清掃を行っている。環境にやさしい消費活動を推進している。 有害化学物質を把握し、適切な管理及び処理に取り組んでいる。大津町主催の「大津町美化作業の日」へ参加している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		事務所と借り上げ社宅の電気使用量の把握のよって社宅利用者への節電の推進を行っている。LED照明への取り換えが済んでいる。社用車の運転日報によつて使用量を把握している。CO2削減のため電気使用量などから排出量を見える化する肥後銀行ソフトで『炭削くん』を利用している。							7.3					13					
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		エアコンの設定温度を適切に保ち、フィルターの定期的な清掃を行っている。LEDランプ使用の推奨を行っている。九電の計算式から電力使用料からCO2排出量を計算している。社外活動時可能な限り、徒歩・自転車・公共交通機関を使用するスマートムーブを推奨している。CO2削減のため電気使用量などから排出量を見える化する肥後銀行ソフトで『炭削くん』を利用している。		2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15			
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		業務活動内で発生するゴミの分別の徹底を行っている。 廃プラスチックを削減のため、工コバック・マイボトル使用の推進を行っている。					6.6								14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		従業員へのPCの配置、総務業務の外部委託と社内での情報交換にSNSを活用することでペーパーレス化を行っている。工場内・事務所内でのメモ用紙には裏紙を使用し、再生用紙の利用推進を行っている。社宅内に備え付ける家電はリサイクル家電を使用している。工場内ではハンドペーパーではなく、個人でハンカチを用意するよう周知している。							9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		工場内・事務所内での節水と無駄な水使用的抑止を推進するため、手洗い場やお手洗いに節水を促す広告を掲示している。 飲料水は、水源(湧き水)を使用している。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b				11.5		14.1 14.2 14.3	15		17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		環境に配慮した生産工程で作られた材料を使用した製造業業務を行っている。 事業及び従業員の活動において、環境に配慮した製品の購入を推奨している。 再生用紙の利用を推進している。							9.4			12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 ・食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		飲食店や農家さんから寄付を受けた地域食材を使用し活動を行っている株式会社はぐくみ・子ども食堂へ、クラウドファンディングにて支援している。 社内レクリエーション時の30・10運動を推進している。	1	2			6.4					12.3		14	15		17		
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		事務所内での観葉植物の植栽を行っている。										11.6 11.7		13.1 13.3		15		17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。	●		工場内にある200V空気清浄機の使用方法を見直しのため、タイマーを設置し、品質に問題のない時間帯(夜間・休日)に停止させ、57%の電力削減ができる。						7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●							6			9.4			11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●		地域の植林整備活動に参加している。 歩道の花壇に花を植えることや、桜の木のこもまき活動を行っている。					6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●													12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●										9.4		11.2		13.1 13.3					
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2	

更新

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 事業者名：株式会社 エヴォルト

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

チャレンジ項目記入数 15

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		製品の組み立て完了時や製品完成時の、チェックシートを使用した安全性と品質の確認を行っている。一度目と二度目の確認を異なる従業員が行うことによって、二重チェックの体制を取っている。エンドユーザーからのフィードバックシートにより確認している。社員でグループを形成し品質向上の活動を行い、半年に1度社内発表会を行っている。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		工場入口にスロープ設置している。 工場内階段は転倒防止に段差注意喚起のシールあり。 お手洗い等従業員共用の場においてタブストリー化を行っている。								9.1	10	11.7						17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。	●			2.3 2.4						7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。	●		事務所内の壁を制作するにあたり、熊本県の木材を使用したDIYにて行った。						7					12.2	13.1		15			
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に取り組んでいる。	●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15			17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		飲食店や農家さんから寄付を受けた地域食材を使用し活動を行っている株式会社はぐくみ・子ども食堂へ、クラウドファンディングにて支援している。事務所職場周辺を清掃している。大津町主催の「大津町美化作業の日」へ参加している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		従業員へのハザードマップの周知を行っている。 勤務中災害が起きた場合の避難経路の確認と、緊急連絡先・緊急連絡網を作成し、必要に応じて随時変更・修正を行い更新している。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。	●		地域の消防団加入を行っており、参加している。 勤務時間内でもその活動を認め、支援している。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。	●											9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。	●		社内での年2回の研修にて、SDGsにおける職場環境や業務上で具体的に結びつきのある内容に関して理解を深めている。役職員のSDGs17目標に対する意識の醸成を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受け入れ】 ・職場体験、インターンシップの受け入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。	●		熊本県からの依頼を受け、高校での出前授業を実施している。 職場見学は連絡をもらい次第日程調整を行い、隨時行っている。				4				8.6		10.2						17	
	49	【若者の地元定着】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。	●		企業説明会や就職説明会への積極的な参加を行っている。地元住民を優先的に採用し、新規卒者の採用は県内の高校から積極的に採用している。高校生の地元就職を促進に向けて、企業情報誌への積極的な掲載を行っている。地元高校での会社説明会へ参加している。				4.4				8.5 8.6								17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。	●			2		4.3 4.4 4.5					8.6		10.2		12	13	14	15		17

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。